

# 日立SOL・クリエイト 仮想オフィス全社導入

## 課題共有・雑談 リアル感追求

日立ソリューションズ・クリエイト（東京都品川区、竹田広光社長）は、働き方改革の一環で実証運用していた自社開発の仮想オフィスを全社導入した。実際のオフィスにいるように感じられるコミュニケーション支援機能を強化。公私のメリハリをつけながら業務効率を維持できるように改善した。

日立ソリューションズ・クリエイトはコロナ禍の在宅勤務で業務

部の部門で実証運用。社長ら役員も参加し、これからの働き方を検証してきた。総じて好評だったものの、一緒に働いているという一体感の乏しさが課題として浮上。コミュニケーション支援機能の充実を図って今月から全社展開した。



効率の低下を感じた社員の割合が高かったことから、オフィスフロアを再現する「360度パノラマビュー」と自分のデスク機能を再現する「ワークボード」の2画面で構成するシステムを開発し、5月から一

▲仮想オフィスに併設されたカフェで雑談できる機能も搭載  
仮想オフィスを併設されたカフェで雑談できる機能も搭載

「仮想オフィスの業務効率維持には、気軽に手軽なコミュニケーション機能が不可欠。22年度以降、事業としてもチームで働ける共同空間を提供していきたい」（中村勝彦人事創夢本部副本部長）としている。